

平成29年3月29日

関東東北産業保安監督部東北支部
保安課

平成28年東北管内におけるガス事故について

(1) ガス事故詳報対象事故について

① 管内におけるガス事故の発生件数について

管内におけるガス事業法施行規則第112条第1項に該当する詳報対象事故（以下「ガス事故」という。）の発生件数及び被災者数は表1、表2のとおり。

表1 管内のガス事故発生件数

[単位：件]

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
東北管内	一般ガス事業	4	10	11	12	6	10	8	6
	導管事業	1	0	0	0	0	0	0	0
	簡易ガス事業	4	0	2	3	1	6	2	3
	小計	9	10	13	15	7	16	10	9
全国		305	383	467	471	767	674	532	468

注1:H23の事故件数には、東日本大震災による製造支障事故や広範囲の導管損傷による供給支障事故の件数は含んでいない。

注2:H25の全国の件数は、FF式レンジフード型給湯器のケーシング変形による事故件数の大幅な増加(前年比289件増)が要因であるが、当該機器メーカー等が積極的に点検、部品交換を実施している過程で多く発見されたものである。

表2 管内のガス事故による被災者数

[単位：人]

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
死亡者数	一般	0	0	2	0	0	0	0	0
	簡易	0	0	0	0	0	0	0	0
負傷者数	一般	3	7	14	3	3	3	3	0
	簡易	0	0	2	0	0	1	0	1
全国	死亡	3	1	3	0	1	1	2	0
	負傷	64	54	78	54	39	51	42	26

注:負傷者数にはCO中毒を含む。

② 管内におけるガス事故概要について

平成28年に東北管内で発生したガス事故を段階別にみると、製造段階が2件、供給段階が6件、消費段階が1件となっている。

表3 東北管内のガス事故概要（一般ガス事業、簡易ガス事業）

	月日	県名	区分	段階	現象	事故の概要
1	1月3日	岩手	一般	供給	漏えい (交通困難)	住民より敷地内がガス臭いとの通報を受け出動し、灯外内管立上管ネジ接合部より微量の漏洩を確認した。 当該管は駐車場にあり、車両が立ち去った昼過ぎからガス臭がしたとの証言から、駐車車両が接触し、破損したため漏洩したと推定。 これに伴い、消防は、市道15mを約1時間交通規制した。
2	2月25日	岩手	一般	供給	漏えい (交通困難)	消防本部より市内道路でガス臭があるとの連絡を受けて出動し、場所を特定して掘削したところ、支管(50A)の継ぎ手部より漏洩を確認した。 PE管であったが、継ぎ手部に使用したメカニカルエルボに、地震や復興工事の重車両の往來の増加により、隙間が生じ漏えいに至ったと推定。 なお、消防は、漏えいのあった市道15mを2時間半交通規制した。
3	6月1日	山形	簡易	供給	漏えい・着火 (他工事) 【軽傷1名】	他業者(電気設備)が電柱設置工事中に供給管を損傷し、ガスが漏えいしたもの。 加えて、復旧工事中、ガスに引火し、作業員1名が軽傷(火傷)を負ったもの。
4	6月14日	宮城	一般	供給	供給支障 (35戸)	マンションの需要家よりガスの出が悪いと通報があり、現場到着、通報のあった需要家宅で供給圧力を確認したところほぼ0kPaであり、メーター立管からは水が混入している音を確認できた。 安全確保と差水箇所を特定するためにマンションへのガス供給を停止。 マンション供給管付近の支管を調査したところ、当該支管に水が入り込んでいることを確認した。 支管に浸入した水を抽水し、カメラ調査にて新たな流入がない事を確認し、供給を再開した。 翌日、敷地内のガス管破損を疑い調査したところ、当該マンションの供給管取出し位置から北へ70m付近にある支管及び未使用の供給管ともに水が流れた跡を確認。 更に灯外内管を調査したところ、ガス管標示杭によって灯外内管が損傷しているのを確認した。

5	8月31日	福島	一般	供給	漏えい・着火 (導管工事)	<p>経年管入替工事現場において、ガス供給中の住宅へ、灯外内管を新しく敷設する為、請負業者が敷地内コンクリートの既設内管付近を電動ピックで研り中、灯外内管（PE管）を誤って損傷させた。</p> <p>請負業者が応急的にガス漏えいを止めたが、臭気のみを確認で、検知器等による漏えいの確認を行っていなかった。</p> <p>その後、本格修理のための研り作業を再開したところ、着火し、ガス供給している住宅が全焼。</p> <p>事故発生現場の付近にJRの線路があり、煙の影響で同線の駅間の上り線で一時運転見合わせた。上り一本に、70分の遅れが出た。</p>
6	9月13日	宮城	簡易	製造	その他 (供給支障) (79戸)	<p>需要家からガスが出ないとの通報があり出動したところ、特定製造所内の感震遮断装置が作動しガス供給が停止していた。</p> <p>原因はボンベ配送員が感震センサーに誤接触し作動したもの。</p> <p>9月13日15時00分復旧済み (供給再開)。</p> <p>供給支障：79戸 13:30～15:00 90分間</p>
7	9月14日	福島	一般	消費	漏えい・着火	<p>ガステーブルコンロで味噌汁を温めようとしたが点火しなかったため、ガス栓を開け再度点火しところテーブルコンロ後方より火が着いた。</p> <p>その際、ガス漏れ警報器は発しなかった。</p> <p>調査の結果、二口ヒューズガス栓の機器接続側及び未使用側の両方のガス栓が半開状態であったことを確認した。</p> <p>原因はテーブルコンロを使用する際に、はじめに誤って未使用側ガス栓を過流出安全機構が作動しない程度に開けてしまい、未燃ガスが漏出する状態となった。</p> <p>テーブルコンロが点火しなかったため、機器接続側ガス栓を開け再度点火した際に、テーブルコンロの燃焼炎が未使用側ガス栓から漏出した未燃ガスに引火したと推定される。</p> <p>なお、未使用ガス栓にゴムキャップが取付けてあったかは不明。</p>
8	10月5日	宮城	一般	供給	漏えい (交通困難)	<p>消防無線にてガス漏れ警戒通報受信。</p> <p>ガス事業者が現場到着時、消防による規制を確認。</p> <p>ガス事業者にて道路上の漏洩調査を行い当該箇所の供給管付近で漏洩反応を確認。</p> <p>掘削したところ不要供給管の腐食によるガス漏れを確認したことから、復旧工事を実施した。</p> <p>消防による交通規制 約5時間</p>

9	11月28日	岩手	簡易	製造	その他 (供給支障) (148戸)	<p>住民よりガスがつかないとの通報を受け 出動したところ、容器のガス切れを確認し た。</p> <p>容器を取替え、漏えい検査を圧力保持に より確認した後、8時30分、供給を再開 した。</p> <p>供給支障: 148戸 6:33~8:30 117分 間</p>
---	--------	----	----	----	-------------------------	--